

広報

今 帰 仁



# なきじん

毎月1日発行

1998

# 9月

NO.274



今帰仁御神

●今帰仁村の人口

男4,805人(-12) 女4,793人(+5) 計9,598人(-7)

世帯数3,281戸(0) 平成10年7月31日現在



## NHK夏期巡回ラジオ体操会沖縄大会 村運動公園に二千三百人が参加

「元気におはよう ラジオ体操」でおなじみのNHKラジオ第一放送により全国へ実況中継される夏期巡回ラジオ体操会沖縄大会が七月二十七日、村内をはじめ県内各地から約二千三百人が参加して村運動公園で開かれた。会場には、夏休み期間中とあって各地域の子どもたちや多くの家族連れが詰め掛け、生中継のラジオ体操を満喫、さわやかな汗を流した。

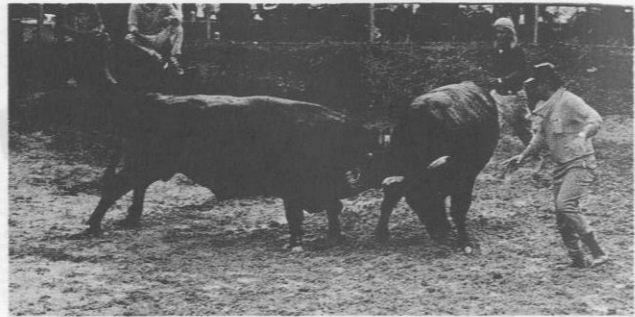
今年にはラジオ体操を開始して以来七十周年の記念すべき年にあたり、NHK及び全国ラジオ体操連盟では今後さらに国民の健康保持の増進を目的とした様々な企画を実施することになっている。

### 今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



▲厳正な審査をするカラオケ大会審査員のみなさん



▲雨もなんのその……激闘



▲



▶チビッコ綱引き大会



▲チビッコ相撲で優勝した古宇利チーム



▲牛乳ストロー早飲み大会

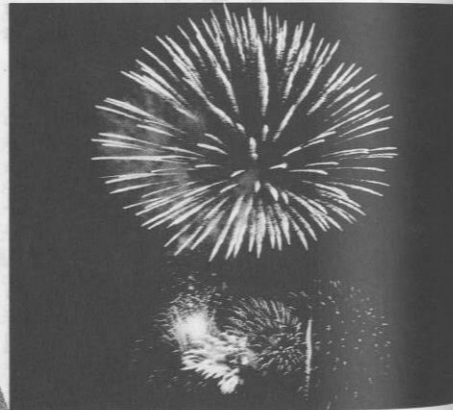
▲ヨーイドン。一番早いのはだれ…?



▲子どもたちによるみごとな空手の演武



▲スリー（北山高）によるエネルギッシュなダンス



▲観衆を魅了した花火



▶豆舞踊家たち  
艶やかな衣装に身を包んだ



▶アレックスティックの先が...  
これぞまさに驚れ技  
グランドゴルフ大会



▲区長会代表と儀常次さんに栄冠



▲新良幸人 with サンデー

# 第19回 今帰仁村まつり

## 猛暑吹き飛ばす

### ※ 盛りだくさんのイベントに大歓声



▲いまじん太鼓と鼓衆「太陽の子」の華麗なる共演



▶実行委員長あいさつ

恒例の第十九回今帰仁村まつり（村まつり実行委員会主催）が八月二十二、二十三の両日、村運動公園を主会場に開催され、連日多くの人出でにぎわった。

昼の部では、各字対抗のチビッコ綱引き大会やチビッコ相撲大会などに熱戦を繰り広げ、会場から盛んな声援が送られた。夜の部は盆踊り、青年会イサー、職域カラオケ大会などの多彩なイベントに加え百五十発の花火が打ち上げられ、観衆は心行くまで夏の夜を楽しんだ。

また、村宮闘牛場で行われた闘牛大会はたくさんの闘牛ファンが繰り出し、まつりを盛り上げた。



▲力強い湧川青年会イサー



▲チビッコ踊り子



▲地謡の面々



▲ユカタ姿の踊り子



▲魚のつかみどり競争



▲ガブブリ四つ、大相撲



▲子どもたちといっしょに盆おどり





# 夢に向かって

古宇利中1年 玉城 康 幸

## 第十六回青少年の主張大会

コバルトブルーの海に囲まれた小さな島。たくさんの自然に恵まれた小さな島。それは僕の住んでいる古宇利島。僕はこの島が大好きだ。僕の将来の夢は古宇利島の医者になることです。僕には、母がいません。生まれた時からいまままで父方の祖母に育てられました。小さい頃からおばあちゃん子だったので、いつも祖母の後からくっついて歩いて自分自身の小さい頃の姿を思い出します。

小学生の頃、家の都合でしょっちゅう転校をくりかえしていた僕は、学校がいやになった時期がありました。そんな時、祖母は、いつもおだやかな口調で、「康幸は、なんでも、目標をもって頑張らないといけないよ」と僕に言うのです。僕は何度も、祖母のその言葉に励まされてきました。

僕が小学校四年生の頃、とても悲しいことがありました。祖母が交通事故にあい、腰の骨を

二本も折るというおおケガを負ってしまったのです。祖母はすぐに、古宇利島の診療所で応急処置を受け、本島の病院へ入院しました。僕もおばさんと一緒にお見舞いに行きました。祖母は、「目から火が出るくらい、痛かったよ」と、丸くなった腰をさすりながら僕に言いました。その時、僕は、大切な祖母を助けてくれたお医者さんが神様のように思えてなりません。僕が将来、医者になろうと思いはじめたのは、その頃からでした。

そして、医者がとても重要な役割を果しているということ、を、身近に感じたのは去年の十一月のこと。古宇利中の体育館で、診療所のお医者さんの講演会を聞いた時です。「古宇利の人たちは、塩分のとりすぎだから気をつけなければならぬ」というような話をしていました。僕の祖母と同じくらいの年のお年寄りもいました。みんな真剣にお医者さんの話を聞いて聞いています。僕はその時、島の人たちにとって、診療所の

お医者さんがなくてはならない存在だということをつくづく感じました。

実際、僕の祖母も、事故にあった時、診療所のお医者さんの応急処置があったからこそ、大事にはいたらなくてすんだのです。島の人たちが安心して働いていくためにも、島の医療というものがどんなに大切なのかを改めて考えさせられました。この古宇利島に診療所がなかったら、ハブなどに噛まれてしまった場合、船に乗り、遠い病院へ行って治療しなければなりません。お年寄りの多い僕たちの島の診療所は、島の人たちのよりどころであり、要でもあるのです。

今年の四月、講演をなさった診療所の先生が転勤になり、この島を去っていく時、港には島の中のお年寄りたちが集まり、先生を見送りました。本当に、島のために尽くしてくれたということ、感謝の気持ちでいっぱいだったのでしょう。

僕は将来、へきちの医療に携わりたいと思っています。できるならば、この古宇利島の医

者として働き、島の人たちの役にたちたいのです。僕は、人の心の痛みがわかる医者になりたいです。ただ単に、病気を治すだけでなく、患者の心の痛みまでわかるよう、患者と語りあえるような医者をめざしています。そして、「人の心の痛み」や「やさしさ」というものを教えてくれたのが僕の祖母です。祖母から学んだ人間として一番大事なことを忘れず、僕は自分の道をすすんでいきたいです。

また、僕の目標である医者になるためには、これからいろんな勉強をしていかねばなりません。僕は今、卓球部の一員として、生徒会の整備委員長としてもがんばっています。授業も集中して受けるよう心がけて、家庭学習も毎日やっています。僕の夢の第一歩は、何にでも一生懸命頑張ることです。今のこの気持ちをいつまでも忘れず、自分の夢に向かって、僕は歩きつづけます。

## 学対シリーズ (45)



# わたしの本読み

今帰仁小二年 なかおし りな

「りなさんは、本読みがとってもじょうずですね。とうじょうじんぶつになりきって読んでいますよ」

本読みテストで、わたしはいつも先生にほめられています。わたしのくひょうは、お兄ちゃんみたいに、もつとじょうずに本読みをすることです。お兄ちゃんは、朝読み、夕読みの作文でゆうしゅうしようをもらいました。どうわ大会でもゆうしゅうしようをもらいました。

「ようし、わたしもかんばるぞ」と、わたしはまい日、朝読み、夕読みをかんばっています。

朝の七時十五分です。朝読みタイムの時間です。お兄ちゃん、大きな雨の音にもま

けずに、大きくひびく声で本読みをします。つづいてわたしの番です。お母さんはよこにすわって、「うん、うん」と、うなずきながら、聞いてくれます。

「お母さん、きょうは何まる」と、聞くと「はい。きょうは声も大きかったから大きな花まるだよ」と、言ってくれます。わたしは、とってもいい気分になります。でも、声も小さい時は、ただのまるの時もあるの、くやしくなりま

す。お兄ちゃんは、いつも花まるです。わたしは、いつもこころの中で、「いいなあ」と、うらやましく思います。

午後七時。夕読みタイムの時間です。かていがくしゅうがおわってから夕読みをします。

きょうのしゅくだいは、しをおぼえることです。わたしは、「タンポポ」のしを何回も何回もくりかえし、れんしゅうしました。

「りな、よくおぼえたね。じょうず。じょうず。あしたのテストごうかくだね」と、お兄ちゃんと、お母さんが大きなはくしゅをしてくれました。

「いよいよ、こここの時間です。きょうは、しのテストです。さあ、おぼえてきた人」と、先生が言いました。

「はい」と、わたしは、まっ先に手をあげました。

「りなさん、どうぞ」と言った



▲古宇利小1年 たましろ まりの

## 「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスター・コンクール優秀賞

ので、わたしは、きのうのれんしゅうを思い出しながら、大きな声で読みました。

「タンポポ。だれでもタンポポはすきです。どうぶつたちも大すきです」わたしは、どきどきしたけれど、気もちをこめて読みました。

もつとおおきく  
もつとじょうずに  
まりにちがんばんる  
あさよみ ゆらよみ

湧川小二年 なかむら りこ

「すごいぞ。よくさいごまでおぼえたね。きょうのごうかくしやは、りなさん一人です」と先生もにこにこしながら、ほめてくれました。これからも、お兄ちゃんといっしょに朝読み、夕読みをがんばりたいです。



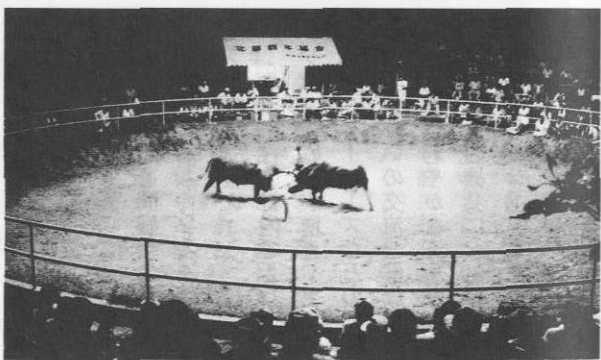


▲何でここから貝殻が…不思議だなあ～

今帰仁中学校創立五十周年記念事業募金活動の一環として七月二十七日、北部闘牛組合(与那嶺篤哉会長)主催によるチャリティーナイター

### 今帰仁中 創立50周年記念 チャリティー闘牛大会 収益金100万円を贈る

闘牛大会が村営闘牛場で行われ、同中学校のPTAをはじめ村内外から多数の闘牛ファンが詰め掛けにぎわった。大会には十組の闘牛が出場熱戦を繰り広げ、横綱戦はタイガー大王が圧勝した。また、収益金百万円が五十周年記念事業期成会(宮城康吉会長)に贈られた。さらに当日は多くのPTA母姉部の皆さんが一致団結のもとバサーに協力、その収益金も寄付された。



▶闘牛ファンの見守る中激戦続出

### 文化財の発掘作業を自ら体験 地域の歴史を学ぶ

村教育委員会(大城藤夫教育長)は八月六日、高田勝さん(運天九三〇)の敷地内の一角に、今年四月確認されたばかりの大地原(オオジバル)遺跡で文化財発掘調査を実施した。同調査には、村内の小学校五、六年生児童二十三人が参

加。発掘作業で次々と掘り出される貝殻に子どもたちは不思議そうな表情で、職員にいろいろな質問を浴びせながら地域の歴史を学んだ。この遺跡では、約千五百年前の縄縄貝塚時代後期の土器や約三千八百年前の縄文土器も発掘されている。



▲夏休みを利用して保育実習をする今帰仁中の生徒たち

村内の中学生が保育体験実習 子どもたちとじがに触れ合う 保育実習を通して幼児期の子どもとの触れ合いを体験し、人間形成の大切な時期の保育の在り方を考えようと、今帰仁中学校が七月三十一日、古字利中学校が八月十日、それぞれ村営仲宗根保育所と北山保育所で保育実習を行った。保育実習には、今帰仁中の生徒六人と古字利中から四人の生徒が参加。園児と一緒に体遊をしたり、シャボン玉や水遊び、紙芝居などで触れ合



▲園児と水遊びをする古字利中の生徒たち

いながら保育の実際を学んだ。今回の保育実習を終えた仲間あずきさん(今帰仁中三年)は「私の夢である保育の仕事はとても忙しそうだけど、小さな子どもたちに優しく接し健やかな成長を見守ることができるのはすばらしい」と感想を述べ、また小波津睦さん(古字利中三年)は「この体験を通して保育さんたちの保育に対する情熱を感じ、私も将来、何かに一生懸命打ち込めるような仕事に就きたい」と話した。

## 地域の抱えている問題を 共に考えよう

### 新報移動編集局を開催

七月二十三日、「農業リゾートで村おこし」のテーマで本村と琉球新報社の共催による第四十一回「新報移動編集局」が村コミュニティセンターで開催され、村民約百七十人が参加した。



▲村民170人が参加して活発な意見交換が行われた新報移動編集局

これは地域の抱えている問題と共に考えようと、琉球新報創刊百年を記念して行われたもので、本村の将来像「自然と歴史とロマンに満ち、躍動するむら」づくりを目指して活発な討議が展開された。はじめに主催者を代表して上間博安村長と高嶺朝一琉球新報編集局長があいさつ。続いて大城勝助役が基調講演を行い、いかに村民所得の向上を図るかが最大の行政課題であるとした上で、キーワードを「若者の定住化と雇用の場の創出」と提起。「農林漁業、商工業の相乗効果が発揮できるような産業構造に持つていくことがこれからの地域活性化につながる」と述べた。

パネルディスカッションではパネリスト六人が報告。それぞれの立場から村おこしを訴えた。またフロアからも次々と活発な意見が出され、会場は終始村おこし一色に包まれた。



▲「農業の振興には嫁不足の解消が必要」と訴える与儀常次さん

### 渡喜仁子ども会と 運天区が海浜で クリーン作戦を展開



▲海浜の空き缶拾いや草刈り作業に汗を流す運天区民

七月十八日、二十六日に渡喜仁子ども会と運天区がそれぞれ海浜美化作業を実施した。

渡喜仁子ども育成会(具志高司会長)は七月十八日、通称「ウップマ」で学事奨励会の一環としてビーチキャンプを行い、この機会にボランティア活動の大切さを子どもたちに知ってもらおうと会員約三十人が一斉にビーチを清掃した。この活動に参加した子ども会長の新城亜沙美さんは「ここでキャンプや釣りをする人

たちはもう少しゴミの片付けをきちんとしてほしい」と感想を述べた。

続いて七月二十六日、は運天区のPTA、子ども会、老人会など約五十人が参加して通称「クンジャーバマ」でクリーン作戦を展開、空き缶拾いや周辺の草刈り作業に心地よい汗を流した。渡久山克幸区長は「みんなでの美しい海浜を守り、この活動を通して子どもたちに燃えるゴミ、燃えないゴミの分別を身につけさせたい」と話した。





# 北山高校創立50周年 その草創期を顧みる(9)

運天政一 - 「蛭雪時代」の思い出今なお深く -

先(八月)号で取り上げた「四期生に生え抜きの誇り」の中で、私は当時語りぐさになった琉大合格者の実績を示し、スポーツに劣らぬ進学面でのすばらしい出来栄を書いた。私は草創期を通してこれに引けを取らぬ状況が続いたであろうことを脳裡にささやかな誇りとして抱いてきたが、今改めてその実態に触れ感慨を新たにするのである。

さて夏休みに入って学校からの資料収集が捗らないなかい思いつきで五期から十期までの次の各位(五期・新城春樹、六期・仲里金助、七期・島田清文、八期・運天富三、九期・仲宗根恵蔵、十期・運天政昇)に、四十数年前暗れて琉大に入学した頃のことを思い返してもらおうついでに、当時の進学状況を振り返ってもらった。

アルバム片手にチェックした者、久しぶりに電話で同期生と確認しあった者、各人思い思いに回答してくれたが、その声はいずれも弾んでおり「蛭雪時代」を懐かしむ風情

期	進学者数	備 考
5	17	過卒含め22名受験 21名合格 5期は全員合格
6	23	国費1名(具志堅(金城)勲)
7	29	国費1名(宮城親水) 本土大学ほか5名
8	31	現役20名 浪役11名 国費3名ほか計7名
9	21	県外 1名
10	23	契約2名(早稲田) 含め 本土大ほか7名

満杯であった。ただ、数字については約半世紀の隔たりに疑問符の付くものもあり、したがって左の表については今後の精査を経て幾分訂正される余地があることを申し添える。

備考欄及び状況聴取の折りに知り得たことを総括して所感の一端を述べれば、各期ともかなり合格率が高かったこと、各期で琉大進学者にバラツキがあることは在籍の数にもよるが、それよりもむしろ一浪合格者や前年度の合格率の影響などで、期によっては受験が牽制され、しぼられたこと、また年を追って国費、契約、本土私大、沖大等

との兼ね合いも出て当時なりの厳しさも窺えた。

特に八期生については琉大合格者三十一名の他に国費学生三名を輩出する快挙があった。当時、国費学生は採用五十名にたいし受験者約七百名が殺到し、競争率実に十四倍、この難関を突破した三名(内間莊六・新潟大学医学部、山城康男・長崎大学水産学部、玉木英彦・山梨大学工学部)の出現(存在)は、陸上の完全制覇とともに文武両道の北山の名をさらに高めたのである。

とにかくこの三人はよく勉強した。放課後それも陽は落ちて暮れなずむ頃、閑散とした教室を巡回するときままつてこの三人が申し合わせたように一人ずつ、別々の教室で一心不乱に勉強していた。この一種近寄りたいたい姿にどれほどこの私が無言の圧力を受け叱咤激励されたことか。

思えば私にとって代用教員時代は即「蛭雪時代」であり競争相手は先生方ではなく生徒諸君らであったので、この

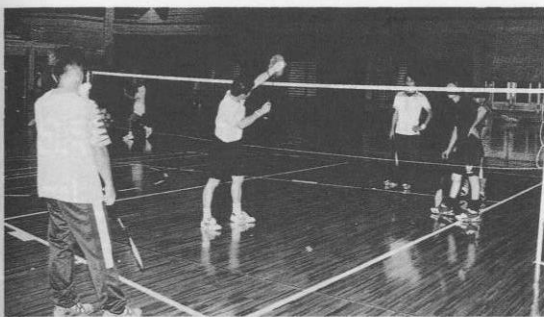
生徒達との切磋琢磨によって育てられた感がきわめて深い。私が高卒後七年目にして大学生活をおくれるようになったのは当時の諸先生方の方に対する配慮もさることながら、いつにかかって私に肉迫してくる当時の生徒達の存在によるものであったと思う。

このあたりのことになると約半世紀も前のことがついでこの間のことのようにも思え瑞々しく蘇るのである。(同窓生は敬称を略します。)



内間莊六 山城康男 玉木英彦

8期生、国費合格トリオ(昭和31年3月)



講師の説明に聞き入る受講生たち

## お互いの交流と健康保持のため バドミントン教室を実施

村教育委員会主催の「楽しいバドミントン教室」が八月十一日から四日間、村民体育館で開催された。

講師には県バドミントン協会の真栄里美保先生が指導にあたり、受講生三十人が夕方の二時間バドミントンの基礎、基本の動きをマスターした。

三日目からはゲームを中心とした実践に入り、試合方法やバドミントンの楽しさを味わ

村農業委員会(内間利三会長)は経営感覚に優れた効率のかつ安定的な農業経営体を育成するため、農用地の流動化(認定農業者等への農地の集積)を積極的に推進している。

七月三十日、平成十年度農地流動化推進大会がJA会館

## 村農業委員会県知事より表彰される 農地流動化推進大会

で開かれ、その中で県内各市町村農用地利用集積の取り組み状況が発表された。本村は五十haの実績を上げ他市町村(二位国頭村、三十八ha)を大きくリード。その功績が認められ、村農業委員会が太田昌秀県知事より表彰された。



和やかな表情で表彰式に臨む島袋光雄事務局長

いながら練習に取り組んだ。受講生の西平まりやさんは「今日はいいい汗をかき楽しく受講できました。この教室で学んだことを同好会のサークルでも活かしていきたい」と感想を述べた。

また現在、村内でもバドミントン愛好者が増え、アヒルの会、ケイローズなどの同好会でお互いの交流と健康保持のためさわやかな汗を流している。この機会に、気軽にできるバドミントンをあなたも実践してみませんか。

## 成績表

種 目	優 勝	2 位
総 合 成 績	仲宗根	謝・越
男子バレーボール	謝・越	崎・平
女子バレーボール	謝・越	仲宗根
男子バスケットボール	仲宗根	玉・呉
女子バスケットボール	湧 川	
ソフトテニス	仲宗根	湧 川
ボウリング	今 泊	仲宗根

八月九日、第五十四回村球格技大会(村体協主催)が村運動公園を主会場に開催された。

大会は、バレーボール(男八チーム、女二チーム)、バスケットボール(男六チーム、女一チーム)、ソフトテニス(二チーム)、ボウリング(六チーム)の四種目に日ごろ鍛

## 仲宗根が優勝を飾る 第五十四回村球格技大会



崎・平対謝・越の熱戦

えた技を競い、仲宗根が優勝を飾った。

また、今回から新種目としてボウリングを取り入れ、大会を盛り上げた。

各種目の成績は別表のとおり



# あまから 伝言板 くまから

## 村議会議員選挙

9月13日(日)

あなたの一票で

住みよい今帰仁村

村には皆様の様々な悩みにお答えするための相談窓口があります。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

◎法律相談  
(相談員) 玉城嵩男 弁護士

◎人権相談  
(相談員) 地元人権擁護委員  
島袋輝志雄 TEL 56-3224  
謝花 勝子 TEL 56-2716  
那覇地方事務局職員  
総務係長 奥間政義

◎行政相談  
(相談員) 新垣 侃  
TEL 56-3148

と き 平成10年9月16日(水)  
10時~16時  
と ころ 村コミュニティセンター

## 国民年金に加入 されているみなさまへ 国民年金保険料について

**社会保険料控除があります**  
納めた保険料は、社会保険料控除額として所得から控除されます。

**国民年金保険料は、年齢・性別・所得に関係なく全国一律です。**

**定額保険料**  
平成10年4月から1ヶ月 13,300円

**定額保険料+付加保険料**  
1ヶ月 13,700円


**保険料を未納のままにしておく**  
保険料を未納のままにしておきますと、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金を受けられなくなる場合がありますので忘れずに納めましょう。

**保険料の納付は 便利な口座振替をおすすめします**

口座振替ですと、あなたの指定の口座から自動的に引き落とされ、納め忘れから年金が受けられなくなることもありません。

**申し込み手続きは**  
①あなたの預金口座のある金融機関  
②村役場国民年金窓口

**手続きに必要なもの**  
①預金通帳  
②預金通帳届出印



## 老人実態調査について

平成12年度から実施される、介護保険制度の円滑な推進を図るため、平成10年度には全市町村(全国)において老人実態調査が行われます。

この調査は、現に介護サービスを受けている皆さんを始め、高齢者(63歳以上)を対象として要介護サービス利用者の実態を把握するための調査です。現在、今帰仁村には63歳以上の方が2,500名余おられますが、全員を対象に9月の終り頃行う予定です。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、制度については広報誌にて随時解説する予定です。  
問い合わせ先 今帰仁村役場 福祉課  
TEL 56-2101 (内線48)

## 9月1日~9月30日は「障害者雇用促進月間」

◎公共職業安定所では障害者の就職を促進するため、職業相談・職業紹介を行っております。一人でも多くの障害者が就職できるよう事業者のご協力をお願いします。また、安定所紹介で障害者を雇用した場合、事業者に対し各種援助制度があります。平成10年7月1日から障害者雇用率が1.8%となりました。(56人に1人雇用)

問い合わせ先: 名護公共職業安定所 窓口2番  
TEL 52-2810

**「ツール・ド・おきなわ '98」**  
(第10回記念大会)における募集

開催期日: 平成10年11月6日(金)・7日(土)・8日(日)

開催場所: 沖縄県北部圏域(やんばる)

募集期間: 平成10年8月1日~9月30日

お問い合わせ先: ツール・ド・おきなわ実行委員会  
TEL (54)3174 FAX (54)3169

**ご寄付**

村育英会へ  
◎玉城美代子さん(玉城五三)より夫、栄勇様の香典返しとして三十万円  
◎今帰仁村に揃いの会より南こうせつコンサート収益金として十五万円

村社会福祉協議会へ  
◎平山恒子さん(渡喜仁一)より夫、良善様の香典返しとして十万円  
※ご芳志ありがとうございました。



## 保健婦 だより

アンケート調査について  
住民検診を機会に村では、現在二つのアンケート調査を実施しています。一つは「今帰仁村における健康と生活習慣に関する基礎調査」  
この調査は保健予防課と名護保健所が共同で行います。住民検診での基本健康審査の有所見者の割合を見ても、毎年高血糖及び糖尿病、疑いがトップを占めています。そこで健康や生活習慣病に関する住民の意識を調査し、

### 平成10年度婦人検診日程

検診日	場所	対象区
10月2日(金)	コミセン 受付 午後1時 午後2時	今泊・兼次・ 諸志・与那嶺・ 仲尾次
10月9日(金)	"	崎山・平敷・ 越地・謝名・ 仲宗根
10月16日(金)	"	玉城・呉我山・ 湧川・天底
10月23日(金)	"	勢理客・渡喜仁・ 上運天・運天・ 古宇利
11月13日(金)	"	村全体(モレ者)

「今帰仁村の高齢者の健康と日常生活に関する調査」  
この調査は、琉球大学の保健社会学教室と村がプロジェクトを組み実施します。昨年六十五歳以上の女性の骨密度測定を行ったのもその一貫です。今年、十二月に体力測定と男性の骨密度測定、そして今回の調査を予定しています。  
このプロジェクトの研究は沖縄における社会環境と長寿の関係を研究するもので、長寿者の多い今帰仁村の社会環境(地域の生活環境、生活習慣、伝統文化など)、村民の性格および健康習慣などを把握、健康状態と長寿との関わりを明らかにし、「健康長寿村づくり」を行っていく上で今後の保健事業に役立てていくことを目的としています。  
調査の対象者は、六十五歳以上の男女で、与那嶺、今泊、渡喜仁、運天、湧川、崎山、仲宗根、玉城の八地区を対象に実施します。この調査は、訪問による聞き取りが主となりますので、村民の皆様には、大変お忙しい中とは存じますがご協力をよろしくお願いします。

今後の保健事業に役立てていくことを目的としています。  
調査の対象者は、六十五歳以上の男女で、与那嶺、今泊、渡喜仁、運天、湧川、崎山、仲宗根、玉城の八地区を対象に実施します。この調査は、訪問による聞き取りが主となりますので、村民の皆様には、大変お忙しい中とは存じますがご協力をよろしくお願いします。

**日常生活で積極的にからだを動かしましょう**

- 朝起きて、洗顔し、着替えて身だしなみを整える
- ラジオ体操をする
- 食事をつくる
- 新聞や本を読む
- ものを書く
- 積極的におしゃべりする
- 毎日入浴する
- 家に閉じこもらないで外に出る
- テレビには注意が必要(注意してメモをとるぐらいの知的な活動を)



村民カレンダー

9月/長月

1	火	○村畜産共進会 ○二期開始業式 ○企画展(文化センター 30日まで) ○心身障害児通園事業(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○敬老会 ○デイサービス(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン)
2	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~16:30 コミセン)
3	木	
4	金	
5	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
6	日	
7	月	○住民検診(湧川) ○区長会(14:00~ 2階会議室)
8	火	○住民検診(天底・勢理客)
9	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~16:30 コミセン)
10	木	
11	金	○住民検診(運天・上運天)
12	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
13	日	○村議会議員投票日(7:00~20:00)
14	月	
15	火	敬老の日
16	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○住民検診(仲宗根) ○リハビリ教室(13:30~16:30 コミセン) ○牛セリ(セリ市場) ○法律相談・人権相談・行政相談(10:00~16:00)
17	木	○住民検診(渡喜仁・役場)
18	金	○区長会(14:00 ~2階会議室) ○住民検診(古宇利) ○離島フェア
19	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○離島フェア
20	日	○離島フェア ○兼次中・今帰仁中運動会

21	月	○風しん予防接種(幼児)
22	火	○月例記録会(17:30~ 運動公園)
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	
26	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
27	日	○住民検診(モレ) ○兼次小、今帰仁小、天底小、湧川小中、古宇利小中運動会
28	月	
29	火	
30	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~16:30 コミセン)

10月/神無月

1	木	○心身障害児通園事業(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○北部地区畜産共進会(セリ市場) ○デイサービス(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン)
2	金	○婦人検診(今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次) コミセン
3	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○村陸上前日競技
4	日	○村陸上競技大会
5	月	○区長会(14:00~ 2階会議室)
6	火	○ディケア
7	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~16:30 コミセン)
8	木	○1才半・3才児健診
9	金	○婦人検診(崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根) コミセン

編集後記

今年創立五十周年を迎える我が母校北山高校の輝かしい変遷を一月号より掲載しているが、創立当初の先輩方のご苦労や校章である若鷲のささやかな誕生、さらには陸上、駅伝をはじめ琉球大学建学三年目に二十四人の生徒が受験して二十三人が合格するなど文武両道での活躍はまさに教育の神髄をえているような気がする。

今、北山高校でも新しく理数科を新設しかつての黄金時代復活を目指し、取り組みを強化しているところだと思いが、先生並びに在校生の皆さんには、是非「北山高校創立五十周年その創草期を顧みる」の掲載文を読んでいただき、時代は変わっても人間は変わらないとの認識で頑張ってもらいたい。